

# IC Recorder

ICD-B61

## IC RECORDER

© 2008 Sony Corporation Printed in China



### 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。  
この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

### 警告 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障しただけ
- 万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

### 警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

<b>危険</b> この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が発生します。	<b>注意を促す記号</b> 火災 感電
<b>警告</b> この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。	<b>行為を禁止する記号</b> 禁止 分解禁止
<b>注意</b> この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。	

**警告** 下記の注意事項を守らないと、火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

**内部に水や異物を落とさない**  
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店やソニーサービス窓口にご相談ください。

**湿気やほこり、油煙、湿気の多い場所や、直射日光のあたる場所は置かない**  
火災や感電の原因となる場合があります。とくに風扇場では絶対に使用しないでください。

**注意** 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

**内部を開けない**  
感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

**大音量で長時間つけて聞きすぎない**  
耳を刺激するような大きな音量で長時間つけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにイヤホン・イヤホンで聞くときにはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

### 準備

#### 準備 1：付属品を確かめる

梱包箱から取り出したら、次の付属品がそろっているか確認してください。

本体 (1台)	ニッケル水素電池LR03 (2個)	取扱説明書 (本書、1枚)
		ソニーご相談窓口のご案内 (1枚)

表示窓に貼られているフィルムを剥がしてお使いください。

### 各部のなまえ

<b>本体 (表面)</b>	<b>(裏面)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>内蔵マイク</li> <li>〇 (イヤホン) ジャック</li> <li>〆 (マイク) ジャック</li> <li>表示窓</li> <li>表示・メニューボタン</li> <li>分割ボタン</li> <li>■ (停止) ボタン</li> <li>●●録音 (一時停止) ボタン</li> <li>← → (レビュー/キュー (選択)) ボタン</li> <li>スピーカー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇 (イヤホン) ジャック</li> <li>OPR (オペレーション) ランプ</li> <li>消去ボタン</li> <li>音量つまみ*</li> <li>ホールドスイッチ</li> <li>再生/停止・決定ボタン**</li> <li>DC IN 3Vジャック</li> <li>電池ふた</li> <li>ハンドストラップ 取り付け部 (ハンドストラップは付属していません。)</li> </ul>
<b>表示窓</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>録音モード表示 (HQ/SP/LP)</li> <li>アラーム表示</li> <li>リピート表示</li> <li>「録音日時」表示 (録音年月日、時刻のときと点灯します。)</li> <li>「残り時間」表示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電池残量表示</li> <li>「REC (録音)」表示</li> <li>「時計設定」表示</li> <li>マイク感度表示</li> <li>フォルダ内の総用件数、メニュー、カウンター、残り時間、録音日付、現在時刻表示など</li> <li>メモリー残量表示</li> </ul>

- 本製品の不具合により、録音ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合、録音内容の補償についてはご容赦ください。
- 本製品を使用したことによる生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にたむし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

#### バックアップのすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず準備として、カセットテープなどに録音してください。

### 電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・膨脹による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

### 危険 乾電池が液漏れしたときは

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

### 警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

### 注意

- 火のそばや直射日光のあたる場所、炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外袋のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

### 充電式の電池を使用する場合のご注意

- 本機では、充電式電池も使用できます。
- 充電電池で満充電状態でも、本機に入れたときにバッテリー残量表示がフル状態を示さない場合があります。
- 電池の持続時間は、アルカリ乾電池よりも短くなります。
- 充電電池を充電する際に本機から電池を抜く必要があるため、その間に別の充電電池または乾電池を入れておかないと、充電のたびに時計設定が初期状態に戻ってしまいます。
- 充電器は常温で使用してください。
- 充電電池および充電器は、以下の製品をご利用ください。
  - －充電式ニッケル水素電池単4形：NH-AAA-4BF
  - －ニッケル水素電池専用急速充電器：BCG-34HRES

### 日本国内での充電式電池の廃棄について

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にゼロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有責任中間法人JBRCホームページ <http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照してください。

### Ni-MH

### 準備 2：電池を準備する

#### 使用できる電池と充電電池

- 単4形アルカリ乾電池2本 (付属)
  - 充電式ニッケル水素電池単4形 (別売)：NH-AAA-4BF
- 充電器は、以下の製品をご利用ください。
- ニッケル水素電池専用急速充電器 (別売)：BCG-34HRES

#### 注意

乾電池は電池のメーカーや種類によって性能のばらつきがあり、使用時間の目安に対して低温下では短くなる場合があります。

#### 使用できない電池

マンガン電池

#### 乾電池、充電電池の持続時間

乾電池の持続時間\* (ソニーアルカリ乾電池LR03(SG)を連続使用時)

	HQモード**	SPモード***	LPモード****
録音時	約11時間	約22時間	約22時間
再生時****	約7時間30分	約11時間	約11時間

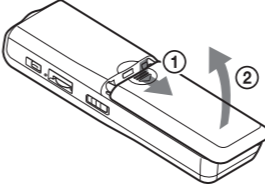
充電電池の持続時間\* (ソニー充電式ニッケル水素電池NH-AAAを連続使用時)

	HQモード**	SPモード***	LPモード****
録音時	約11時間	約19時間30分	約19時間30分
再生時****	約7時間30分	約10時間30分	約10時間30分

- \* 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
- \*\* HQモード：高音質モード
- \*\* SPモード：標準モード
- \*\*\*\* LPモード：長時間モード
- \*\*\*\* 音量つまみを「7」に設定し、内蔵スピーカーで音楽を再生した場合。

### 準備 3：電池を入れる

#### 1 電池ふたを矢印の方向へずらして開ける。



電池を交換する時期  
電池の残量がなくなってくると、表示窓の表示でお知らせします。  
■ が点滅したら、電池を交換してください。  
■ が点滅すると電源が切れ、操作ができなくなります。

#### 注意

- 乾電池を交換する際、消耗した電池を抜いて新しい乾電池を入れると、時計設定画面 (日付表示が点滅) に戻ってしまいます。この場合は時計を合わせ直ししてください。なお、録音した内容やアラーム設定は消えません。
- 乾電池を交換するときは、必ず2本とも新しい乾電池に交換してください
- 別売のAC/パワーアダプターAC-E30L使用時は、電池残量表示は表示されません。

#### 2 単4形アルカリ乾電池 (付属) を2本入れ、ふたを閉める。



電池ふたは落としたり、無理な力を加えたりするのは避け、はめ直してください。

お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を交換したとき、日付表示が点滅します。

「準備4: 時計を合わせる」の手順2~3をご覧ください。

### 準備 4：時計を合わせる

アラーム機能を使用したり、録音した日付を記録するためには、本機の時計合わせをしておく必要があります。

#### 1 時計設定画面を表示する。

① 表示・メニューボタンを1秒以上押し、メニューモードに入る。

② ←|→ または ▶▶|+ ボタンを押して「SET DATE」を表示させる。

③ ▶▶再生/停止・決定ボタンを押す。「年」の数字が点滅します。

#### 2 年月日を合わせる。

① ←|→ または ▶▶|+ ボタンを押して「年」の数字を選ぶ。

② ▶▶再生/停止・決定ボタンを押す。「月」の数字が点滅します。

③ 同様にして、「月」、「日」を合わせ、▶▶再生/停止・決定ボタンを押す。「時」の数字が点滅します。

#### 3 時分を合わせる。

① ←|→ または ▶▶|+ ボタンを押して「時」の数字を選ぶ。

② 同様にして、「分」を合わせる。

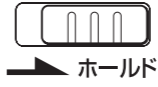
③ ▶▶再生/停止・決定ボタンを押す。「分」の数字が点滅します。

④ 時報と同時に ▶▶再生/停止・決定ボタンを押す。「SET DATE」表示に戻ります。

⑤ 表示・メニューボタンを押す。

### 電源について

電源を切るには、停止中にホールドスイッチを矢印の方向にずらしてください。電源を入れるには、ホールドスイッチを矢印とは反対方向にずらし、操作ボタンを押してください。



### 基本的な使いかた

#### 用件を録音する

本機に99件まで用件を録音できます。

- 録音 (一時停止) ボタンを押すと、自動的に一番最後の部分に録音が追加されるので、テープのように録音されていない部分を探す必要がなく、すぐに録音が始まります。

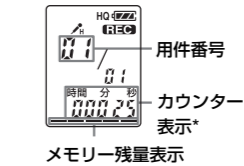
例： [用件1] [用件2] [新しい用件] [空きスペース]

#### 1 録音モードを選ぶ。

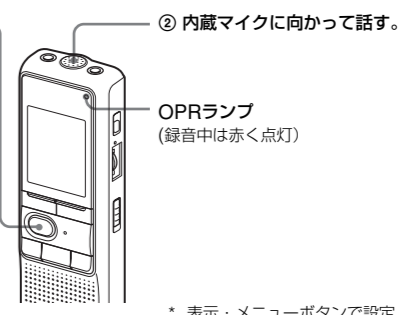
設定方法については、裏面「録音モードを設定する」をご覧ください。

#### 2 録音を始める。

① 停止中に、●●録音 (一時停止) ボタンを押す。  
●●録音 (一時停止) ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。



メモリー残量表示



表示・メニューボタンで設定した表示が表示されます。

#### 3 録音を止める。

●●録音 (一時停止) ボタン  
録音が一時停止します\*。  
(OPRランプが赤く点滅し、「PAUSE」表示が点滅。) もう一度押すと、一時停止が解除されます。先程録音していた用件に続けて録音することができます。

▶▶再生/停止・決定ボタン  
録音が解除され、今録音した用件のはじめから録音することができます。

■ (停止) ボタンを押す。  
今録音した用件のはじめで停止します。

←|→ (レビュー) ボタンを押す。  
録音中または録音一時停止中に押し続けると、録音が解除され、今録音したところから早戻し (レビュー) 再生されます。ボタンを離すと離れたところから再生が始まります。

●●注意  
用件分割を頻繁にすると早戻し (レビュー) 再生になるまで時間がかかることがあります。

#### 録音可能時間について

最大録音時間は下記のとおりです。録音可能な残り時間は「残り時間表示モード」で確認できます。

HQモード**	SPモード***	LPモード****
615時間10分	122時間20分	301時間35分

- \*\* HQモード：高音質モード
- \*\* SPモード：標準モード
- \*\*\*\* LPモード：長時間モード

- OPRランプが赤またはオレンジに点灯・点滅中は電池ははずしたり、AC/パワーアダプターを抜かずにください。データが破損するおそれがあります。
- (マイク) ジャックにオーディオコードをつないでいるときは、内蔵マイクでの録音はできません。つないだ機器またはコードをはずしてください。
- 録音中、本機に手などがあたったり、こすったりすると録音が録音されてしまうことがあります。
- より良い音質で録音したいときは、メニューの「MODE」(録音モード) でHQモードを選んでください。
- 録音を始める前に必ず電池残量表示を確認してください。
- 長時間録音途中の電池交換を避けたいときは、別売のAC/パワーアダプターAC-E30Lをお使いください。
- 録音モードを混在して録音した場合、最大録音時間は任意に変化していきます。

メモリー残量表示について  
残量が減ると、ひとつずつ消えていきます。

録音中に残り時間が5分を切るとメモリー残量表示が点滅し、残り時間が1分を切ると「残り時間」表示モードに切り替わり、残量表示とカウンター表示が点滅します。不要な用件を消去してください。

### 録音した用件を聞く

あらかじめ録音してある用件を選んで聞くときは、手順1から操作してください。今録音したばかりの用件を聞くには、手順2から行ってください。

#### 1 用件番号を選ぶ。

←|→ または ▶▶|+ ボタンを押して、聞きたい用件の番号を表示させる。  
←|→前の用件へ  
▶▶|+次の用件へ

選んだ用件番号

カウンター表示\*

\* 表示・メニューボタンで設定した表示が表示されます。

#### 2 再生を始める。

① ▶▶再生/停止・決定ボタンを押す。

〇 (イヤホン) ジャック

OPRランプ (再生中は緑に点灯)

② 音量つまみで音量を調節する。

■ (停止) ボタン

カウンター表示\*

\* 表示・メニューボタンで設定した表示が表示されます。

イヤホンレシーバーで聞くには  
別売のイヤホンレシーバーを〇 (イヤホン) ジャックに差し込みます。スピーカーからは音が出なくなります。雑音が入るときは、イヤホンレシーバーのプラグをきれいに拭いてください。

同じ用件を繰り返し聞くには  
1件リピート再生

- 再生中に ▶▶再生/停止・決定ボタンを1秒以上押します。「C」が表示され、その用件が繰り返し再生されます。
- 普通の再生に戻すには：▶▶再生/停止・決定ボタンを押します。
- リピート再生を止めるには：■ (停止) ボタンを押します。

再生中に早送り/早戻しするには (キュー/レビュー)

- 早送り (キュー)：再生中に▶▶|+ ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。
  - 早戻し (レビュー)：再生中に←|→ ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。
- 最初は少しずつ早送り/早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。しばらくそのままにすると、高速での早送り/早戻しになります。早送り/早戻し中は、表示モードの設定に関係なく、カウンター表示になります。

最後の用件の終わりまで早送りすると、最後の用件の終わりまで送られると、「END」表示が5秒間点滅します。点滅中はOPRランプは緑に点灯しています。(再生音は聞こえません。)

- 「END」の点滅中に←|→ ボタンを押したままにする、早戻しされ、離れたところから再生が始まります。
- 最後の用件が長時間の用件の場合で、用件の中の方を探して再生したい場合は、▶▶|+ ボタンを押し続けていったん用件の最後まで早送りして、「END」表示の点滅中に←|→ ボタンを押して聞きたいところまで早戻しして探すと便利です。
- 最後の用件以外の場合は、次の用件の頭に送ってから再生中に早戻しすると素早く探せます。

#### その他の操作

再生の途中、その位置で停止する	▶▶再生/停止・決定ボタンを押す。(もう一度押すと、止めたところから再生が始まります。)
今聞いている用件の頭に戻る	← → ボタンを短く1回押す。
前回の用件、さらに前回の用件に戻る	← → ボタンを短く何回か押す。(停止中は押しただままにする、連続して戻ります。)
次の用件に進む	▶▶ + ボタンを短く1回押す。
さらに次の用件に進む	▶▶ + ボタンを短く何回か押す。(停止中は押しただままにする、連続して進みます。)



